

第

2

編

基本構想

第 1 章 将来像

第 2 章 将来の見通し

第 3 章 構想実現のための柱と基本目標

第 4 章 基本構想実現に向けた行政運営

Chapter 1 第1章 将来像

将来像は、大野市が目指す10年後のまちの姿です。

大野市のこれからのまちづくりには、市民の力や地域の力、各種団体や企業の力、行政の力を合わせ、共に考え、行動していくことが求められています。

総合計画における将来像は、まちづくりにかかわるすべての人や団体などにとって、目指すべき姿となります。

市民の誰もが、大野市に住んで良かったと実感できるように、

また、未来の子どもたちにふるさとを引き継げるように、

将来像を次のように定めます。

ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち

次のような10年後のまちの姿を目指します。

ひかり
かがやき

人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などは大野市が全国に誇ることができる魅力です。魅力のある素材のすべてが磨かれています。

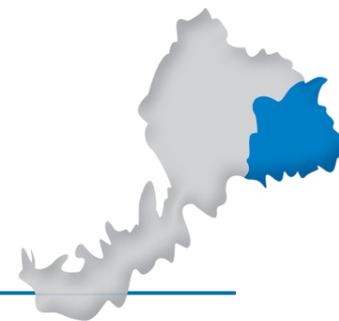
たくましく

おおのびと
大野人^{びと}は、純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象^{びと}と雪国特有の粘り強さを併せ持っています。大野人の良さを保ち続けるとともに、大野の魅力を発揮する人と産業がたくましく育っています。

心ふれあう

子どもから高齢者まで、人と人との触れ合いや共に語り合うことを大切に、互いに学び、働き、憩うことで、心が満ちてゆとりがあります。人情味があふれるもてなしの心で、訪れる人とも交流が深まっています。

Chapter 2 第2章 将来の見通し



第1節 人口の見通し

大野市の人口は、近年減少を続けていることに加え、少子化・高齢化が進んでいます。国立社会保障・人口問題研究所が行った大野市の将来推計人口によれば、2020（平成32）年には31,650人となり、2010（平成22）年に比べ、少子化が進むとともに、生産年齢人口が約4,000人減少すると予測されています。

また、日本の将来推計人口によれば、国の総人口は今後長期の減少過程に入るとともに、総人口に占める年少人口の割合も減少することが予測されています。

本構想では、こうした予測結果を踏まえつつ、政策的要因として、中部縦貫自動車道の一部供用開始や、国道158号、保健・医療・福祉サービス拠点施設などの社会基盤の整備が進んだことなどによる若者と元気な高齢者の人口増を見込み、目標人口を33,000人と設定します。

第2節 ふれあい交流人口の見通し

少子化・高齢化などにより定住人口の減少が続く中、地域の活力を支えていくには交流人口の増加が必要です。このため、本構想では、人口に1日当たりの大野市外からの来訪者数を加えた「ふれあい交流人口」の見通しを取り入れることとします。

交流人口の主な構成要素である大野市の年間観光入り込み客数は、近年、150万人前後で横ばいとなっています。本構想では、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などの地域資源を磨きつつ有機的に連携させ、中部縦貫自動車道の一部供用開始など社会基盤が整うことで、観光客の大幅増を見込み、目標年間観光入り込み客数を200万人（1日当たり約5,000人）と設定します。

従って、目標ふれあい交流人口は、38,000人と設定します。

第3節 土地利用

大野市の面積は872.30km²あり県土の20.8%を占め、県内自治体では最大です。そのうち8割以上が森林です。

土地利用については、基幹道路開通など社会経済の変化に伴い、需要の変化が予想されますが、限られた資源であるとともに人口が減少過程にあることをも考え、計画的で適正な利用を図ります。その基本方針は、①大野の特性を生かした土地利用、②自然と共生する土地利用、③安全で快適な土地利用の3点とします。





人口・世帯数の推移と見通し

(資料:国勢調査。平成22年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計)



観光入り込み客数の推移と見通し

(資料:市観光振興課)



人や産業、自然の元気が集まり、元気が次々と新しい元気を生み出すまちづくりを目指すため、人が元気、産業が元気、自然が元気、そして行財政改革という構想実現のための柱を、将来像の下に設定します。

また、人が元気、産業が元気、自然が元気の柱については、まちづくりの目標となる基本目標を定めます。基本目標に向かって、施策を組み、事業を実施していきます。

〈構想実現のための柱〉

〈基本目標〉



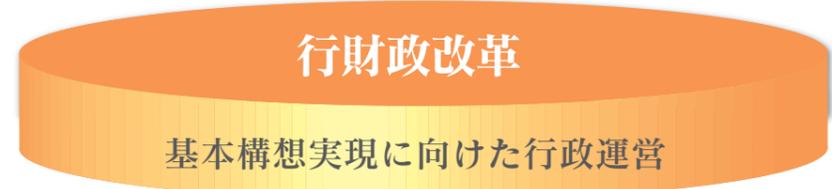
優しく賢くたくましい大野人が育つまち
共に思いやり支え合う安全で安心なまち



誰もが快適で暮らしやすいまち
越前おおのの魅力あふれる活力あるまち



美しく豊かな自然環境を育み継承するまち



将来像 ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち



第1節 優しく賢くたくましい大野人が育つまち

人が元氣

粘り強さや厚い人情、進取の気象など古くから育まれてきた大野人ならではの良さが、ややもすると失われつつある中、良いものを生かし新しいことにも果敢に挑戦する気象を受け継ぐことが必要です。

このため、人と人との触れ合いを深め、語り合いを大切にし、一人一人が人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など多くの魅力を持つ郷土に愛着を持ち、生涯を通じて学ぶことのできる教育環境の充実に努めます。

また、地域の個性が感じられるまちづくりを目指し、市民自らが地域への誇りを持ちながらさまざまな活動ができるよう、人材育成や地域貢献活動への支援に取り組み、市民力*・地域力*の向上を図ります。

第2節 共に思いやり支え合う安全で安心なまち

人が元氣

少子化・高齢化や核家族化が進む中、安全で安心なまちを実現するためには、福祉や保健、医療、防災などの分野において、地域内における住民相互の助け合いや連携が必要となっています。

このため、すべての人が生涯を通じて安心して暮らせるよう、高齢者と障害者の自立や子育てを社会全体で支え合う地域福祉*の推進に努めます。

また、健やかで充実した生活ができるよう、健康づくりや介護予防に心掛けるなど、健康への意識の向上を図るとともに、医療機関や行政の連携に市民が協力する地域医療*体制の確立を目指します。

さらに、災害に強いまち、事故や犯罪、消費者被害がないまちを目指し、防災と消防の基盤整備を進めるとともに、地域内で活動する団体や組織を育成し、互いに呼び掛け合い、助け合うことで防止、抑止意識の向上を図ります。

第3節 誰もが快適で暮らしやすいまち

産業が元氣

産業を支え、働く人や暮らす人を支えるとともに、多彩な交流を進めるためには、まちの動脈となる幹線道路の整備や公共交通の確保、基盤となる施設の整備が不可欠です。

このため、中部縦貫自動車道や国道158号をはじめとする幹線道路の早期の整備促進、より良い生活環境づくりのための上下水道整備、快適な道路空間造り、情報通信基盤の整備など、必要な社会資本整備を進めます。

また、中部縦貫自動車道の開通を見据え、「越前おおのまるごと道の駅*」の実現に取り組み

ます。

さらに、高齢者や学生など移動制約者にとって必要不可欠な公共交通の確保に努めるとともに、共助による除雪の体制づくりを進めるなど、訪れる人にも暮らす人にも快適なまちづくりを目指します。

第4節 越前おおのの魅力あふれる活力あるまち

産業が元氣

ますます厳しさが増す経済状況の中、まちの活力を高めるためには、大野市ならではの魅力に着目し、機会を確実に捉えつつ、人や経済の流れを絶えずつくり出し、市民所得を生み出していくことが大切です。

このため、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食など大野市の魅力を発揮させる「越前おおの総ブランド化*」を展開するとともに、「越前おおの型農業*」の確立による農業の活性化と、森林が持つ観光資源や癒しの場としての機能も十分発揮できるよう林業の活性化に努めます。

また、中心市街地活性化を推進し、新たな観光戦略づくりや新たな地域資源の発掘に努めることにより、交流人口の拡大を図ります。

さらに、越前おおの魅力を発揮できる企業の誘致や新たな産業の育成による雇用の確保と、子育てと仕事が両立できる雇用環境の整備に努めます。

第5節 美しく豊かな自然環境を育み継承するまち

自然が元氣

先人から受け継いだ恵まれた自然環境を後世に伝えていくため、市民一人一人が主体となって、美しく豊かな水やみどりを大切に守り育てていく必要があります。

このため、水を育む森林や私たちの身近にある里地里山*、里川*の保全とともに、地下水の保全や御清水を代表とする湧水の再生に取り組み、良好な水環境や越前おおのらしい景観を形成します。さらには、観光や交流に向けて、これら地域資源の有効な活用を図ります。

また、市民、企業への環境保全意識の啓発や子どもたちへの環境教育を進めるなど、環境を守り育てる人づくりに取り組みながら、自然環境への負荷が少ない低炭素社会*と資源循環型社会*の形成を目指します。

基本構想実現に向けた行政運営

行財政改革

人口減少社会が到来し、高齢化が進む中、複雑化・多様化する市民ニーズに的確に応えるとともに、地域主権*の時代にも対応できる行政の体制を整えることが求められています。

このため、これまでの行政主導の市政から、開かれた市民総参加・協働型の市政へ転換する必要があります。

また、日々進歩する情報化社会への速やかな対応や地域主権の時代を見据えた行財政システムの構築などにも取り組まなければなりません。

本構想に掲げる五つの基本目標を実現するため、次の事項を積極的に推進していきます。

- 市民総参加・協働型の市政の推進
- 情報化社会に対応した市政の推進
- 健全な行財政の推進